

学校種別: <b>大学</b>	学校課程コード: <b>2615-184-570</b>
所在地都道府県: <b>京都府</b>	審査受付番号: <b>222037</b>
学校名 課程名: <b>京都美術工芸大学 建築学部 建築学科</b>	
対象入学年: <b>令和4年度(2022年度)</b> 修業年限: <b>4年</b>	新規申請の認定通知日: <b>2021/12/24</b>
必要な実務経験年数 <b>試験時:最短0年 登録時:最短0年</b>	変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築設計導入実習	1年	3
①建築設計製図	建築設計基礎演習Ⅰ	1年	4
①建築設計製図	建築設計基礎演習Ⅱ	2年	4
①建築設計製図	建築設計演習Ⅰ	2年	4
①建築設計製図	建築設計演習Ⅱ	3年	6
①建築設計製図	建築設計演習Ⅲ	4年	4
		小計	25
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅰ	1年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅱ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅲ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅳ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本住居史	1年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	世界建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	伝統建築図	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	社寺建築論	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近代建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	都市計画	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備	2年	2
		小計	26
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅲ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構法計画Ⅰ	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構法計画Ⅱ	1年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	伝統構造学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料	2年	2
		小計	14
⑧建築生産	建築生産論	3年	2
		小計	2
⑨建築法規	建築法規	2年	2
		小計	2
⑩複合関連科目	色彩学	1年	2
⑩複合関連科目	デザイン概論	1年	2
⑩複合関連科目	建築CAD演習Ⅰ	1年	2
⑩複合関連科目	建築CAD演習Ⅱ	2年	2
⑩複合関連科目	建築概論	1年	2
⑩複合関連科目	都市空間論	3年	2
⑩複合関連科目	景観デザイン論	3年	2
⑩複合関連科目	京町家再生論	3年	2
⑩複合関連科目	室内意匠論	3年	2
⑩複合関連科目	公共デザイン論	3年	2
		小計	20

学校種別: **大学**

学校課程コード: **2615-184-570**

所在地都道府県: **京都府**

審査受付番号: **222037**

学校名 課程名: **京都美術工芸大学 建築学部 建築学科**

対象入学年: **令和4年度(2022年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2021/12/24**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	69
		①～⑩計	89

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上    ②③④ 2単位以上    ⑤⑥⑦ 3単位以上    ⑧ 1単位以上    ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。